

平成25年8月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成25年8月23日 (金)		
2 開会及び閉会	開会	15時05分	
	閉会	16時10分	
3 出席委員	委員長	渡辺勝志	
	委員	塩田澄子	
	委員	曾田佳代子	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	橋本拓治	教育次長	渡辺和夫
統括審議監	佐々木辰昭	審議監(学校教育担当)	天野和弘
審議監(生涯学習担当)	直本正明	教育企画総務課長	長瀬尚樹
人事財務課長	荻野拓志	学校施設課長	佐々江一男
学事課長	三宅泰司	就学課学校環境調整担当課長	樽家博志
指導課長	堀井博司	指導課教育支援担当課長	山崎克磨
指導課人権教育担当課長	梅原信芳	指導課課長代理	濱口修
教育研究研修センター所長	渡部健治	保健体育課課長補佐	岡崎恵子
生涯学習課長	丸川康一	中央図書館長	宮本嘉彦
中央公民館長	片岡延之	文化財課長	乗岡実
オリエント美術課長	大塚利昭	岡山後楽館高等学校事務長	重松浩二郎
こども企画総務課長	奥野淳子		
事務局(教育企画総務課課長補佐)	高木宏	事務局(教育企画総務課副主査)	坂本頼則
5 議題及び結果			
第29号議案 平成24年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について 原案可決			

6 教育長等の報告 [平成25年7月13日(土)～平成25年8月9日(金)]		
7/6～7/30	「池田遙邨展」(岡山市立中央図書館開館30周年記念)	中央図書館
7/7・7/21	第50回 岡山市子ども会親善球技大会	こども企画総務課
7/17	P T A指導者研修会	生涯学習課
7/20	埋蔵文化財講座遺跡が語る岡山の歴史第3回	文化財課
7/23～7/26	子ども国際ホームステイ	国際課・指導課
7/23～8/2	歯の衛生週間ポスター展示	保健体育課
7/25	P T A人権問題研修講座	指導課
7/25・8/8	えほんに出てくるおいしいレシピ	岡輝公民館主催/ 中央図書館・岡山 南高等学校共催
7/27	岡山市教育振興基本計画策定記念フォーラム	教育企画総務課
7/27	岡山城三之外曲輪跡発掘調査現地説明会	文化財課
7/27	親子環境学習サマースクール①	生涯学習課
8/2	P T A人権問題研修講座	指導課
8/3～8/5	第12回 わくわく犬島探検隊	こども企画総務課
8/3～9/26	「倉敷市立中央図書館蔵 三島中洲展」(岡山市立中央図書館&倉敷市立中央図書館開館30周年記念交換展示)	中央図書館
8/8	平成25年度 第51回岡山市学童水泳記録会	保健体育課
8/8	第35回 岡山市小・中学生将棋大会	こども企画総務課
塩田委員 指導課長	○ 子ども国際ホームステイについて、岡山市内でホームステイをすることだが、ホストファミリーの選定等はどのようにしているのか。	
塩田委員 指導課長	○ 本事業は、隔年で、岡山市の子ども達が姉妹都市へ行ったり、姉妹都市の子ども達が岡山市へ来たりしているものだが、国際課が主体となって実施している。ホストファミリーは、公募し、その中で選定を行っている。今年度については、事業報告に記載の7/23～7/26、実際には7/26が金曜日だったため、7/29までホストファミリー宅で過ごした。	
曾田委員 指導課長	○ 公募をすると、どれぐらいの応募があるのか。	
曾田委員 指導課長	○ 今回、36家庭の応募があった。ただし、応募の後に都合が悪くなった家庭があり、結果、30家庭で受け入れていただいた。	
教育長	○ 日本の子ども達も32名参加しているが、どういった交流をしているのか。	
教育長	○ 具体的には、後楽園や岡山城の見学、2日目には上道中学校を訪問して、中学生との交流や、果樹園でのブドウ狩り、3日目には安富牧場でのバター作り、たけの森での飯ごう炊さんやオリエンテーション、市内の班別自主行動等の活動をした。	
塩田委員 曾田委員	○ 応募される家族は、国際交流に関心が高い。日本の32名も、ホストファミリー宅の子どもが多かったと思う。一人、歓迎の言葉を述べた日本の中学生がいたが、英語でのスピーチが素晴らしかった。後で話を聞くと、将来は通訳の仕事をしたいと思っていて、日本にも、韓国にあるイングリッシュビレッジのようなものがもっとあったらいいのにと言っていた。	
塩田委員 曾田委員	○ 来年のESDの際にも、そのような子ども達に活躍してもらいたい。	
指導課長 曾田委員	○ ホームステイを受けたのは、(以前に)国際交流で日本から姉妹都市へ行ったことのある子の家庭が多いのか、それともそれらは関係なく受け入れているのか。	
指導課長 曾田委員	○ 何名かは、国際交流実績のある子の家庭が受け入れてくださっている。	
指導課長 曾田委員	○ このような事業で交流が広がっていくことはとても良いことだと思うのだが、予算的には、以前はライオンズクラブの応援等もあったかと思うが、現在はすべて市の予算となっているのか。	
指導課長 曾田委員	○ 予算は、岡山市国際交流協議会のものが中心となっている。	
指導課長 曾田委員	○ ホームステイ自体はそれぞれの家でできるが、交流会等をするにもいくらかの予算が必要となる。気持ち的には、このようなことに予算が付いてほしいと思う。	

塩田委員 指導課長	○ コミュニケーションは英語なのか。
曾田委員	○ 英語だけではなく、それぞれの母国語や身振り手振りも含めてコミュニケーションしている。
教育企画総務課長	○ 教育振興基本計画策定記念フォーラムは、教育委員も参加し、事務局にはお世話になったが、どのような人の参加が多かったのか。
曾田委員	○ 一番多かったのは学校関係者であるが、保護者の方も小学校で50名、中学校で15名程度参加していただいた。また、地域の方も20名程度、当日参加（地域の方、事業者）も数名あった。
教育企画総務課長	○ 地域協働をテーマとしているが、「地域協働」をピンポイントとするような案内は行ったのか。
曾田委員	○ 特別に「地域協働」での呼びかけはしていないが、学校園への送付文書では、地域の方に広く周知して欲しいという旨を記載している。
教育企画総務課長	○ 参加者アンケートでの主な意見の中でも前向きなご意見が多く、画期的なことだと思うが、それが本当に市民協働になるかどうかについては、広く浅く、あるいは継続的な周知も必要だと思う。今回は計画策定記念のフォーラムであったが、今後何年かに1度このようなフォーラム等を開催していくことは考えているか。
委員長 教育企画総務課長	○ 今秋から今冬にかけて、岡山っ子育成条例の推進会議を開催したいと考えている。育成条例の行動指針の周知の必要性や、育成条例の趣旨を深めていくことを考えていくべきという意見もいただいているので、地域や事業者の代表の方が集まる推進会議の場で、広報・周知の在り方を検討していきたいと考えている。
曾田委員	○ 本フォーラムは、ニュース・新聞等で取り上げられてなかったように思うが。
中央図書館長	○ 広報連絡は行ったが、力及ばずの感があった。 前日には最終の照会もあったが、今回、ホームページにも詳細を掲載しており、今後、活動の周知にも力を入れていきたいと思っている。
曾田委員	○ 今回、事業報告に地区公民館の活動が載っている。他の地区館でこども大学を実施している館があるが、それらも事業報告に載せれば良いのではと思ったのだが、今回の「えほんに出てくるおいしいレシピ」という事業は、地区館として掲載したものか、中央公民館が掲載したものか。
曾田委員	○ 中央図書館として、近隣にある岡輝公民館と連携できる事業はないかということで、今回、中央図書館からの報告とさせてもらったものである。
中央公民館長	○ 地区公民館の事業をすべて載せるのは難しいと思うが、特筆すべき行事は載せれば良いのではと思った。
	○ 地区公民館の事業についても、今後、必要に応じて報告するようにしたい。
7 議事の概要	
委員長	○ 8月定例岡山市教育委員会を開催する。
委員長	○ 本日の傍聴希望者は1名。入室してもらってよいか。
全委員	<承認>
委員長	○ 日程第1、会期は本日1日限りとしてよいか。
全委員	<承認>
委員長	○ 日程第2、7月定例会及び8月臨時会の議事録に問題はないか。
全委員	<承認>
委員長	○ 日程第3、教育長等の報告、事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
委員長	○ 日程第4、第29号議案を説明願う。
教育企画総務課長	○ 説明(第29号議案の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問、意見はないか。
委員長	○ これは、最終的にはホームページにも掲載するというのでよいか。
教育企画総務課長	○ 本日審議いただき、承認が得られれば、ホームページ等でも公開し、広く市民の方に周知する。
塩田委員	○ 今回、外部評価委員と実際に会って協議をすることが出来たことは非常に良かったと思う。意見を文字として読むだけでなく、真意を聴けるのは、情報量が全く異なるものだとことを痛感した。また、我々も目からウロコが落ちた感があった

教育企画総務課長	<p>こととして、選択と集中ということで、目的を達成した事業は現場に任せるといった視点をもう少し持った方が良いという意見があった。これは、事務局の評価を見ていただいた時点が出てきた意見だが、参考として掲載されている各事業の評価シートについて、この意見を踏まえて、「新規・継続」等の前年度からのつながりを見直したものはあるか。</p>
塩田委員	<p>○ これからの進行管理会議の中で、本指摘の視点からも見直しを行いたいと考えている。</p> <p>我々はともすると、続ける・リニューアルするというのみをしがちだが、どのように受け渡していけるかということ、受け渡すことができるのかも含めて、協議が必要と思っている。これは、これからの進行管理会議の大きな課題にしていきたいと思っている。</p>
曾田委員	<p>○ 今年の報告書はすごく見やすくなっており、参考ページ等もあって、読んでいても分かりやすい。すごく完成されたものになったと思う。</p>
教育企画総務課長	<p>○ 外部評価委員の1人と話をする機会があったが、最近は事務局職員が柔軟な対応をするようになってきていると言っていた。PDCAサイクルに乗って、モデルチェンジも早く出来ているので、施策も進むのではないかと言われていた。そのこともこの冊子に現れているのではないかと思う。</p> <p>ただ、これだけのことをすべて現場と事務局で実施し、子どもがすくすくと育てば良いが、それは難しい。点だけでなく線ということも良く使用される表現であるが、事務局内においても複数の担当課があり、他部局もあつたりして、同じようなことが起きうと思う。この報告書の中に、他の部局（市民局や岡山っ子育成局）との連携について記載しているものがないように思ったのだが。</p>
曾田委員	<p>○ 本報告書は24年度の事務に関するものであるため、岡山っ子育成局との連携に関しては、当然記載はない。ただ、岡山型一貫教育や地域協働学校を標榜しているため、他部局との連携についても、次年度以降考えていくべきものと思っている。</p>
指導課長	<p>○ 全てを書き込む必要はないが、姿勢として市民協働と市が言っている割には、局ごとでまとまってしまうやすい。本資料は教育委員会の事務に関する点検・評価なので、教育委員会事務局の中で収まれば良いという感覚かも知れないが、他部局と連携する姿勢を、本報告書の中に表すようにした方が良いと思った。</p> <p>また、教育委員会事務局内部でも、政策を達成するために各種事業があるが、例えばESDの関係で、現実的に生涯学習課と指導課が一緒になって行う事業等もあるのか。</p>
曾田委員	<p>○ 例えば、公民館の活動と学校の活動でESDが絡む場合などには、指導課と生涯学習課でともに行う場合なども当然ある。</p>
教育長	<p>○ あることに関してたまたま複数の課がともに行うことはあるだろうが、フレームとして、複数の課や他局が重なりあうようなものはないのか。各施策がひとつの方向を向いて展開されているような記載はあるが、関係部署が一緒になって、効率的なこと等を考えていくようにしなければ、効果が薄いのではないかと思う。</p>
曾田委員	<p>○ 本報告書の政策・施策は、教育委員会の事業の中の主立ったもののみを記載しており、これ以外の事業の中にも関係部署が繋がるものはある。今後、それらのものをどのように記載していくかについても考えていく必要があると思う。また、塩田委員が言われたように、今回の報告書のまとめ方は大幅に改良されており、これは事務局の努力の賜物だと思うが、このように整理することによって見やすくし、評価についても、しっかり分かるような形で整理していこうというものになっている。今回外部評価委員に指摘された意見は、すぐに改善できないものもあるが、次年度にどのように生かしていくかという、次年度に向けての我々の取組の姿勢も見えてくる。曾田委員が言われる「連携」についても、実際に行っていることをきちんと発信していくことが必要だと思う。</p>
曾田委員	<p>○ 全てを記載するのは難しいし、細かくしすぎるとがんじがらめになってしまうと思うが、考え方とか姿勢として、みんなで育てるからには、教育委員会だけが一生懸命やっているという内容に終始するのではない方が良いのではと思った。そういう意味で、重なっている部分は重なり、お願いする部分はお願いするということで良いし、それぞれが別系統で事業を実施すると、それに対応する学校の負担も大</p>

塩田委員	きくなってしまう。
委員長	○ 国際感覚の育成についても、施策としてあげられているが、個々の事業としてはまだまだ足りないのではと感じている。今回の事業報告中、子ども国際ホームステイの担当課として国際課が出てきているが、このように、得手としている部署に協力を仰ぎながら、充実させていけたら良いと思った。
教育長	○ 8, 9ページの体系図は非常に分かりやすい。難しいかも知れないが、索引のようなものがあるとより分かりやすいと思うので、次年度以降に考えてもらえたらと思う。また、金川委員からグラフ化の意見もあったと思うが、これも次年度以降考えているか。
曾田委員	○ 教育振興基本計画の前半部分で現状等をグラフで示しているが、同じように現状や成果をより具体的に示すことができると考えている。
教育長	○ 一冊で完結させるのも難しいが、例えば、学力・学習状況調査で見えてきたことも、この報告書の課題の中に入れ込むこと等を考えてみてはどうか。 年々、事務局の業務量も増えているため（その都度その資料用にデータ作成するのではなく）既存のデータを応用していくようにすれば、負担も軽減できるし、資料としても見えやすくなる。点検・評価ばかりに時間を費やすこともできないとは思いますが、各資料について、同じデータで考えていく方が効率的であると思う。
委員長	○ 教育振興基本計画で示したラインに沿うようにすることで、これまでのように各事業単位で考えていたときよりも、まとまった形で整理できるものと思っている。
教育企画総務課長	○ これは議会で審議された際に、さらに修正される可能性もあるのか。 ○ 議会へは「報告」になるため、教育委員会で議決されれば、それをそのまま報告するものになる。議会の場で指摘された場合は、次年度以降に検討していくこととなる。
曾田委員	○ 岡山市の条例やアクションプランとの関係を図示したものを別の資料で見た覚えがあるのだが。
教育企画総務課長	○ 教育振興基本計画において、岡山市都市ビジョンとの関係性を示している。
曾田委員	○ あのような関係性の図がとても分かりやすい。こういう関係性の中で動いているということを常に示しておくべきと思うので、再掲になるかも知れないが、点検評価報告書の中にも入れ込むことを次年度検討してもらいたい。
教育企画総務課長	○ 参考にさせていただきたい。今年は、都市ビジョンの枠にはめて構築した体系としている。塩田委員の指摘にもあったように、国際感覚のところには、文化財に関する事業しか掲載していない。それとは別に、学校の日々の授業の中で国際感覚の育成に関することは当然行われているが、今回は体系の組み直しをした結果のものであるため、次年度以降、それぞれの計画の関係性を示していくことも検討していきたいと考えている。
塩田委員	○ アクションプランも毎年作成し、点検・評価も毎年行うこととなっているが、これを一つに統合することはできないのか。
渡辺教育次長	○ アクションプランは、毎年の重点事業の実施計画で、それも含めた各事業の点検・評価を翌年度に行うというものである。
委員長	○ 本報告書を作成するだけでも大変な作業であり、点検・評価報告書の在り方も、さらに点検・評価しなければならないという大変なサイクルだと思うが、内容的には練り上がったものができたと思っている。
委員長	○ 第29号議案を原案どおり可決してよいか。
全委員	<承認>
委員長	○ 第29号議案は原案どおり可決する。

傍聴の状況		
報	道	1名
一	般	0名

平成25年8月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成25年8月23日（金）		
2 開会及び閉会	開 会	16時10分	
	閉 会	16時15分	
3 出席委員	委 員 長	渡 辺 勝 志	
	委 員	塩 田 澄 子	
	委 員	曾 田 佳 代 子	
	委員（教育長）	山 脇 健	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	橋 本 拓 治	教育次長	渡 辺 和 夫
統括審議監	佐々木 辰 昭	審議監（学校教育担当）	天 野 和 弘
審議監（生涯学習担当）	直 本 正 明		
事務局（教育企画総務課課長補佐）	高 木 宏		
5 議題及び結果			
岡山市教育委員会委員長の選挙について			
岡山市教育委員会委員長職務代理者の指定について			